

AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

1994年7月20日発行 第6号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

1994年度総会開かれる ＝設立5年目に向けて大きく飛躍＝

1994年4月16日、フォーラム横浜セミナールーム（ランドマークタワー13階）において横浜スペイン交流協会の94年度総会が開催されました。また当日のようすは神奈川新聞にも紹介されました。

会長挨拶（要旨）：桜の植樹第二弾として、来年11月を予定しています。協会の主眼は、桜の植樹であり、今年7月以降、募金事業を再開したいと考えております。

会員としてのメリットは何か？と良く聞かれますが、本来、メリットは、受け身のものではなく、会員の方々が各種行事に参加され、ご自身で、生活の場、趣味の場を拡げる過程で精神的な満足を楽しんで頂き、会員各位が積極的に協会を活用するようにお願いしたいと考えております。

会長の挨拶の後、以下の議案について決議がなされました

第1・2号議案

前年度事業報告・決算・監査報告は異議なく承認。

第3・4号議案

新年度事業計画・予算案も異議なく承認。

第5号議案

役員改選は、新理事に朝倉、上野、織本、栗山、児玉、高柳、寺原の7氏、退任は、小島、高橋、田中、中田の4氏でそれぞれ承認される（新役員は右記に掲載）。

総会の終了後、同会場にて懇親会を行い、出席会員の自己紹介と朝倉新理事のスペイン語留学帰朝報告（p 8に記事を紹介）があり、なごやかなうちに94年度の総会を終えました。

<新役員>

会 長	下 山 貞 明		
副 会 長	植 田 伊 津 斎	藤 由基彦	
常務理事	飯 塚 勲		
事務局長	阪 本 博		
理 事	朝倉 郁	井上 利雄	上野 淑子
	岡 京子	小田 泰治	織本 瑞子
	栗山由美子	児玉 喬夫	五神 嘉子
	高柳 治子	竹田 富美	寺原 瑛子
	中村 瑛子	西丸 與一	森川 裕也
監 事	芦垣登志男	高島 正子	

神奈川新聞に紹介された総会の記事

スペインの2市に桜の本植樹 来年度

横浜の市民団体が計画

基金の募金開始へ
宮城の団体と共催で



総会、スペインで桜の植樹を行うことと決めた横浜スペイン交流協会が、来年度に桜の本を2市に植樹することを計画している。この計画は、宮城県と共同で行われる。基金の募金活動も開始される。

宮城スペイン協会と共催で ー セビリヤ市とコリア・デル・リオ市へさくら植樹 ー

横浜スペイン交流協会会長 下山 貞明

昨年3月ロンダ市へ多くの方々の御協力により植樹することが出来ました。桜の苗木を御寄贈下された皆様の御芳名は、永遠にロンダ市に保存されております。

次期「さくら植樹」都市としてセビリヤ市、コリア・デル・リオ市に来年11月頃、500本～1,000本位をグアダルキビール河畔、公園などに植樹いたしたいと考えております。特にセビリヤ市郊外のリオ市は、1663年遣欧使節として支倉常長が立寄り、今でもハボン（日本）姓の人が多く住んでおります。

両都市は宮城スペイン協会とも深い関わりをもっており、また当協会の設立が1990年七夕の日！七夕といえば仙台が代表され、これも何かのご縁かと思い、今回の「さくら植樹」事業について共催ができればと伺いましたところ、3月1日の理事会にて了承されました。その後4月27日の総会（勝山館）の御案内を戴きましたので、当日理事

会に出席し当協会の概要ならびに「さくら植樹」計画について説明し、各理事の賛同を得、総会においてこの事業が承認されました。引続き懇親会では来賓として挨拶をいたし、会場の皆様と親しく歓談しながら多くの方々よりすばらしい事業であり共に協力し是非成功させたいとのことでした。

懇親会后、八木専務理事、大内事務局長さんと基本的事項について協議し、今後相互連絡をしながら実施していくこととなりました。なお当日の総会については地元の産経新聞、朝日新聞に「スペインへさくらを植樹しよう」との記事が掲載され、6月中には「さくら基金」の設立準備に入ることです。

当協会においても6月14日駐日スペイン大使と懇談し、また今後「さくら植樹」両都市と具体的に折衝しながら準備を進めてまいりますので、会員の皆様をはじめ多くの方々の御協力を賜りますようお願いいたします。

1994年度事業計画

横浜スペイン交流協会は、本年7月7日、創立4周年を迎えました。会員各位のご理解とご協力により、昨年3月に、当協会設立の主要目的・事業の一つである『日本の桜をスペインに植樹し、これを媒介として両国市民の絆を強く太くし、市民相互の文化交流の発展に寄与しよう』という「さくら交流事業」をロンダ市において『桜の植樹』と『市民交流』という形で成功させました。

今後も引続き「さくら交流事業」を中心に、文化交流に関する諸事業を鋭意推進し、更なる発展を期すると共に、日本とスペイン両国の友好親善関係の促進に寄与したいと考えております。

1. 「さくら交流事業」の推進について

1995年11月を目標にセビリヤ、コリア・デル・リオ市への桜植樹事業の基金募集を行います。

2. 年末恒例になりました会員を中心にした交流パーティを開催いたします。

3. スペインサロンを原則として毎月、以下の諸テーマに基づき開催の予定です。

- (1) 萩内勝之先生（東京経済大教授）講演会
「スペイン人と国王カルロス」

- (2) 長南 実先生（元東京外語大教授）講演会
「大航海時代のスペイン」

- (3) 柳 貞子先生（当協会顧問）
トークと歌唱指導＝皆で歌うスペインの歌

- (4) テルトウーリア
スペイン人を囲んでスペイン語でスペインを語り合う会

- (5) スペイン料理教室（レストランオリーブ）
中村義雄氏（当協会賛助会員）指導による
スペイン料理の作り方。

- (6) 支倉常長の旅
セビリヤへの桜植樹事業に因んで飯塚氏
(当協会常務理事)による連続講演。
- (7) 音楽リサイタル
上野淑子氏(当協会理事)によるスペイン

- 音楽を中心にしたリサイタルと歌唱指導
4. スペイン語教室
5 教室・月3回・土曜・日曜＝受講者約80名
5. その他文化交流事業に係わる諸行事に積極的に参加することとします。

協会のあゆみ (1993年度)

- 4月 1日 セビリヤ市への桜植樹計画(1995年11月)について、同市市会議員のカルメン・ディス・グラシア女史と協議、コリア・デル・リオ市(次回桜植樹予定地)を視察
- 4月 2日 駐西日本大使館を表敬訪問
- 4月 4日 スペイン友好親善視察団帰国(3/26出発、10日後)
- 4月 6日 今回の親善訪問にご協力いただいた関係機関への挨拶(4/18まで)
- 4月26日 駐日スペイン大使に帰国挨拶、報告
- 5月 7日 外務省西欧二課宛帰国挨拶、報告
- 5月19日 横浜市海外交流協会宛挨拶
- 5月20日 宮城スペイン協会と今後の協力関係について協議
- 7月 1日 会報5号発行
- 7月17日 1993年定時総会及び理事会開催
- 8月16日 宮城スペイン協会と今後の諸行事への協力について協議
- 9月19日 日本マドリッド会理事会に出席
- 10月12日 スペイン・ナショナルディ・パーティーに出席
- 10月16日 駐日スペイン大使の講演会に出席
- 11月 8日 神奈川新聞社とスペイン写真展につい

て協議

- 11月27日 駐日スペイン大使と懇談
- 12月11日 当協会創立三周年記念「横浜スペイン交流パーティ」を開催
- 12月21日 駐日スペイン大使ご夫妻と懇談

1994年

- 1月 5日 スペイン写真展を開催(1/9迄、ランドマークタワー13階ラウンジ)
- 1月22日 セビリヤ在住、氷川先生帰国歓迎パーティに出席
- 1月26日 日本スペイン協会新春パーティに出席
駐日スペイン大使と懇談
- 2月 3日 桜植樹事業に関し、宮城スペイン協会と協議
- 2月 7日 同上、日本スペイン協会と協議
- 3月 1日 宮城スペイン協会の理事会において、桜植樹事業を当協会と共催する旨決定したとの通知あり
- 3月12日 第1回スペインサロン＝土屋画伯講演会を開催(ラポール大会議室)
- 3月26日 第2回スペインサロン＝アルフォンソ・セハルボ氏講演会開催

■スペイン語教室

93年4/10～94年3/26 3教室80回実施

■総務、企画会議

93年6/12～94年3/26 12回実施

会費納入のお願い

1994年度会費の納入を、お願い致します。郵便口座番号が変わる為、本来の3月末からお待ち頂いておりましたが、やっと新番号が決まりました。

00290-7-21774 横浜スペイン交流協会 です。

年会費 3,000円は、月額にしますと 250円になりますが、今年は、各月1回は、封書@80円でのご案内を差し上げたいと考えております。出来るだけみなさんとのコミュニケーションを図って、協会に活力を導入させて頂きます。返信用ハガキを同封しても投函して下さい、50%でした。お手数でも、是非意向を反映させて下さい！
(事務局より)

大好評！スペインサロン

本年3月より毎月1回スペインサロンを開催しています。毎回多くの皆様の参加をいただき好評を得ておりますが、今回は第1回～第3回の参加者からの報告を紹介しましょう。

■第1回「日本人の私が見たスペイン」岩橋和喜

3月12日開催の第一回スペインサロンは土屋嘉久画伯を講師に迎え、『日本人の私が見たスペイン』というテーマで国民性、習慣、文化、芸術などにわたり、日本と対比しながら和やかな雰囲気の中、話が進んだ。バレンシア地方のセゴルベの片田舎アンデルスの果樹園の敷地内にアトリエをかまえ、木々の緑と花に囲まれた静かな村での人々との触れ合いや自然と対面しながらの創作活動の話は大変興味深かった。そして、ゆったりとしたスペインの時間の流れの中に身をおいての日々の出来事の話はとかく忙しい国、日本に住む私達にとって夢物語のように思われた。誠実で温厚な人柄がにじみでた語り口で、スペインの魅力溢れる話題で終始し、スペインを知るには格好の講演会ではなかったかと思う。36名の出席者を数え、講演後のアンケートの反響も良く、成功のうちに終了した。

■第2回「私の見た日本の印象」寺原瑛子

第2回スペインサロンは、アルフォンソ・セバルボ氏の「私の見た日本の印象」と題するスペイン語での講演。約30分の講演の後、32名の出席者が1人ずつスペイン語で自己紹介、和気あいの雰囲気になったところでアルフォンソ氏のギターと唄を聞いて幕を閉じた。講演の内容は、5年前に来日し、成田から新宿に着いた時、丁度ラッシュアワーでその人波のすごさに非常に驚いた。しかし、この狭い日本で沢山の人が住むにもかかわらず、皆が秩序を守り、礼儀正しく協調していることに感心する。日本の交通時間の正確さ、郵便、警察、救急医療等公共サービスは素晴らしい。他のサービス業も客に対し、大変丁寧で包装紙に至るまできめ細かい気を使ったサービスである。人間関係では、外国人にとっても親切に款待してくれるが、そのコミュニケーションのやり方は西洋人にとって複雑で理解しがたい独特な面がある。

文化的に素晴らしい人物を数多く生んでいるスペイン。そのスペイン人であることに誇りを感じていることを強調しながら、日本の伝統文化の感



性、創造性に敬意を表わす。特にきものはこの上ない美しい手工芸である。神社仏閣の優美なデザイン建築、絵画、詩、音楽、生け花などの芸術の心はすばらしい。

日本の国の安全性は他の世界先進国の中に類を見ないものである。一方、「日本の奇蹟」と言われる経済発展は、そのかげに個人や家族の生活を犠牲にした働きすぎや、女性の差別など労働システムの問題点がある。

その他、レジャー、お役所仕事、都市開発、市場開放など多岐にわたる観点からの話があった。

■第3回「支倉常長の旅」 中村瑛子

拝啓 支倉六右衛門常長様

昨年、桜の植樹の約束の為にセビリヤ市を訪問した際、市庁舎の常長謁見の間で市長とハボン姓の方にお目にかかり、その時初めて貴殿が380年前になし遂げたことが「今生きている」と実感できました。貴殿は常に悲運の人として登場してきますが、今や貴殿は浪漫の人として私達を魅きつけております。南蛮交渉史に取りつかれ、私財を投げ売ってスペインに渡ってしまったという粹な（酔に狂をつけた方がいいのかしらん？）男性講師による、貴殿の足跡を再現する「支倉常長の旅」レクチャーシリーズも始まりました。帰国後の貴殿の資料が見つからない分、人それぞれに想像力をかきたてられますが、私は、沈黙の胸の奥深く、貴殿は案外、誰も見なかったものを自分だけが見たという「心の宝」を抱いて、心静かに自負を持ってあの世にお立ちになったのではないかと考えております。さて、飯塚講師の貴殿観は如何。しばらくは楽しみに眺めていて下さい。

はじめまして皆さんこんにちは！

当協会の活性化とともに多数の皆さんが入会されています。今回は最近入会された方々の自己紹介です。

◆青木亜矢子

マドリードに2年ほど留学していたことから、スペインとの関わりを継続していきたいと思っています。スペインサロンには興味があり、スペイン映画の上演等もあればと考えております。テルトゥリアにも参加してみたいと思っています。

◆飯塚康子

今から25年ほど前のこと、県立図書館で行われた故佐久間正先生のスペイン語講習会に参加したのが、私とスペインとの出会いです。その後知れば知るほどスペインの不思議な魅力にひかれ、離れられなくなりました。

◆岡田眞佐子

趣味でフラメンコ舞踊を習っています。バックに流れるカンテを耳にするうち、大学時代に学んだスペイン語が懐かしくなり、再び勉強を始めました。いつか西検にも挑戦したいと思っています。スペインに関することなら何でも興味があります。

◆岡野達夫

多趣味右脳型カオス人間であり意外な創造性を秘めていると自画自賛。（不発弾に終わるか）文化と人間臭い生活に憧れたときに古い大脳皮質の奥からスペインが大きく蘇生して入会の動機となりました。

◆岡本賢子

下山会長の奥様と小学校からの同級ですが、さくら交流基金の話を聞き賛同し入会しました。甥がマドリードに在住しており、訪問するのを楽しみにしています。また、協会主催のスペインツアーの企画などあるといいと思います。

◆加瀬隆康

世界史を語るには、スペイン史を知らなければ語れないほど、スペインは世界に大きな影響を与えて来ました。交流協会を通じ日本と古くから友好関係にあるスペインの歴史・文化と人々に触れ、親善関係の深化に努力して参ります。

◆加瀬彰子

学生時代にスペインを訪れて暖かな国民性や豊かな文化に触れ、スペインに対する興味が深まりました。本協会の活動を通して多くのスペイン人

に接し、スペイン文化を理解するとともに日本の文化も紹介していきたいと思っています。

◆加藤純二

スペイン・ポルトガルを旅して、それぞれの国の人々と語り合うことは素晴らしいと思いました。スペイン語圏で仕事をする息子に少しはスペイン語を喋れるようになったらとアドバイスを受け、語学教室に入りました。会社生活を終えたら夫婦でスペインに住んでみたいと夢が膨らみます。実現できればと思っています。

◆木村キミ子

スペインに旅行したいと思っておりましたが、スペイン語教室に通っている友人から楽しい話を聞けると誘われ、まず高柳教室に入りました。先生や短期留学をした教室の友人からスペイン滞在の話を聞き、ますますスペインが好きになりました。さらに、入会を機にスペインとの関わりを深めていきたいと思っています。

◆武沢 潔

半世紀に亘る勤務生活に、この4月を以てピリオドを打ち、解放感に満ちています。思えば、駆け出し時代に体験した古き良き時代のブエノスアイレスでのスペイン語生活の印象が今回、教室の門を叩かせました。他に趣味としてアマチュア無線と書道に親しんでいますが、吾が人生を彩る三本柱と考えております。

◆塚田和夫

仕事人間で多忙な日常から少し離れてみたくて、入会させていただきました。そして、活動しているうちに何か刺激を受けて、新しい目標が見つかればと思っています。ヨーロッパに興味があり、スペイン語も勉強して旅をしたいと思っています。

◆平尾佐代子

15年ほど前にクラシックギターを習い、主にスペインの曲を弾いていました。初歩からスペイン語を勉強するために栗山教室に入り、2年になります。協会主催のスペインへのツアーがあれば参加し、会話を楽しみたいと思っています。

◆益子美代子

昔から興味のあったスペイン語を数年前からコツコツと始め、一人で半年間スペインに行っていました。多少は話せるようになったのですが、帰国後は単語を忘れて行く毎日。おしゃべりをする機会があればと思い入会させていただきました。

◆三木嘉一

少しでもスペインについて知識を増やしたいと思い入会させていただきました。スペイン語は初歩の力しかありませんが、将来、皆様とスペイン語の旅が出来るよう努力したいと思っています。

—— 会員投稿 ——

ライスシャワーの祝福の中で

—— バルセロナにて 高柳 治子 ——

5月16日午後6時30分、花嫁の到着を伝えあうささやきが聖堂の中を走りぬけた。花嫁は代母と共に聖堂入口より祭壇下に進み、そこで、代父に腕をあずけて彼のもとへと歩む花嫁を待っていた。昨日の雨はすっかりあがっていた。花嫁の姉が、カタルーニャには結婚式の日のよい天気を願って、前日に聖女クララの修道院へ卵をとどける習慣があることを教えてくれた。式に先だち花嫁が、両親、兄弟、友人に感謝の言葉を述べたことは、多くの人に感動を与えた。それに続く司式司祭の挨拶の中で、日本人の私が紹介された時には、スペイン人のおおらかさ、さりげない優しさに心うたれた。式後、夫婦となった二人はライスシャワーの祝福をうけた。祝宴はろうそくのゆらめき、花の香り、にぎやかなおしゃべりとロックダンスの中で朝まで続けられた。二人の新婚旅行先を知る人は誰もいない。

スペイン語留学体験記

—— トミー 朝倉 ——

スペインをゆっくり旅行したくて、スペイン語教室に通い始めたのが、60歳でした。3年も経って、まったく会話ができません。そこで、スペイン語の環境をもとめて、マラガ市のマラカ学院に60日間留学することにしました。先生達はとても陽気で親切でした。

クラスメートはヨーロッパ各国から集まってきており、カタコトのスペイン語で国際親善がにぎやかでした。結果はどうやら一人で旅行ができるだけの会話力がついたように思います。高齢者の語学勉強は大変つらいものがあります。記憶力が弱く、かつ集中力がつづかないのでした。したがって授業の進度についていけなくて、2教程目は途中でドロップアウトになりました。日常的に語彙を豊かにする必要を感じました。これからは、ゆっくりと楽しみながらスペイン語を学びスペインの文化を知りたいと思っています。

スペイン語一言葉・ことば・コトバ…

家でズボンをはいているのは誰？

栗山由美子

¡Cuánto tiempo! お久しぶりです。このコラム、今回は衣服にまつわる面白いスペイン語の表現を取り上げてみたいと思います。まずはスカート(falda)から。A Juan le gustan mucho las faldas. 「ファンはスカートが大好きだ」では何か変ですね？女性にはスカートをはき、男性はズボンをはくという古来からの線引きにより、“faldas”には、女、女の子という意味があります。そこでこれは「ファンは大の女好きだ」。次にパンツ、ショーツを示す“braga”. Estoy hecho una braga.

頭の中ではき古したパンツを想像してみてください。「僕はよれよれパンツみたいだ」。何を言いたいのでしょうか？これは「疲れきってクタクタだ」のこと。さて今度はズボン(pantalón). En la fábrica mando yo, pero en casa mi mujer lleva los pantalones. 「工場は僕が仕切っている。でも家ではカミサンがズボンをはいているのさ」？？何でこんなところに“pantalones”が登場するのでしょうか？この熟語“llevar los pantalones”は「(女性が)実権を握る」、特にこの場合のように「カカア天下である」ことを指します。なるほど納得。さてお宅では如何ですか？

スペイン語教室のお知らせ

下記の会場でスペイン語教室が開催されています。ぜひご参加ください。

■受講要領 定員 各教室とも20名(随時参加可、見学也大歓迎)
 授業料 1回1000円(テキスト代別)6ヶ月前納制(①～③教室共通)
 連絡先 横浜スペイン交流協会 スペイン語教室

①戸塚教室

会場 サンライフ横浜研修センター
 コース名 スペイン語入門講座
 講師 高柳治子先生
 開講日 毎月3回 土曜日 9:50～11:20(90分)
 (9、10月の授業日 9/3、10、24 10/8、22、29 8月は夏休み)

②戸塚教室

会場 サンライフ横浜研修センター
 コース名 スペイン語会話入門
 講師 アルフォンソ セハルボ先生(スペイン人男性)
 開講日 毎月3回 土曜日 11:30～13:00(90分)
 毎月3回 土曜日 13:30～15:00(90分)
 (9、10月の授業日 9/3、10、24 10/8、22、29 8月は夏休み)

③山下教室

会場 産貿センター3階横浜海外交流協会ラウンジ(市バス大棧橋入口下車2分)
 コース名 スペイン語中級講座
 講師 栗山由美子先生
 開講日 毎月3回 土曜日 10:30～12:00(90分)
 (9、10月の授業日 9/10、17、24 10/1、15、29 8月は夏休み)

④個人・少人数教室

コース名 少人数スペイン語会話
 講師 岩井ミルタ先生(アルゼンチン人女性)
 授業料 8,000円(4人制)
 開講日 毎月3回 日曜日 14:00～15:30(90分)
 (8、9、10月の授業日 8/7、21、28 9/11、18 10/2、9、16、23)
 ★スペイン語個人授業 随時スタート ご希望の方お電話ください。

編集後記 まず会報の発行が遅くなりましたことお詫び申し上げます。さくら植樹事業の第1回であるロング市への植樹から一年、第2回としてセビリヤ市、コリア・デル・リオ市への植樹計画が動きだしました。前回同様、皆様のご協力をお待ちしております。また今号では本年3月より開催されているスペインサロンをご紹介します。今後も様々なテーマ(事業計画参照)を予定しています。ぜひご参加下さい。

◆事務局：〒244 横浜市戸塚区戸塚町